

## ユニオンファンド 月次レポート

第153号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2021年8月5日作成

## MONTHLY TOPIC

## 不透明要素が増えた夏

## 中国

ここ数か月間、市場では米国のインフレと金融緩和策の転換が最大の関心事でしたが、足元で中国とコロナ問題が大きく浮上してきました。まず中国ですが、過去40年ほど経済成長優先の政策を大胆に進めてきた政府が、市場経済の担い手である企業に対して締め付けを強めています。昨年後半からIT関連企業などを中心に政府の介入が目立つようになり、7月には教育関連企業への規制強化を発表して市場を混乱させました。

こうした変化の背景として、①民間企業が強くなりすぎ共産党の存在を脅かしつつあることへの警戒、②米国市場への株式上場などを通じて中国の様々な情報やデータが流出することへの懸念、③教育費の増大が貧富の差の拡大や少子化につながっているとの疑念、などが挙げられています。そもそも、改革開放政策が始まった当初から、「共産党一党支配と市場主義経済」の併存には無理があると指摘されてきました。今後、民間企業を国家がさらに強く管理する方向に進むのか、それとも政策変更は部分的・一時的なものにとどまるのか、現時点では判断できませんが、中国株投資には不透明さが増してきたように思います。

## デルタ株

二つ目は新型コロナウイルスです。1~2か月前までは、ワクチン接種の進展もあって、コロナは投資家の懸念材料のリストから外れつつありましたが、デルタ型変異ウイルスの広がりによって様相は大きく変わりました。当初のウイルスより感染力が数倍強いとされており、集団免疫の獲得に向けたハードルは一段高まってしまったと考えられます。ところが、ワクチンに懐疑的・否定的な考えを持つ人も多く、接種が進んだ国では接種率が頭打ちとなっています。

ワクチンを接種しても感染してしまう、いわゆる「ブレイクスルー」も新たな懸念要素です。重症化を抑える効果は依然として高いと見られているものの、感染が拡大して医療が逼迫すれば、十分な治療が受けられずに重症化に至る可能性も高まります。さらには、新たな変異ウイルスがデルタ型に続いて出現する可能性もないとは言えません。コロナとの闘いは、これまでの想定以上に長期化すると考えておいた方が良さそうです。

\*\*\*\*\*

## セミナー開催のお知らせ

皆さんの疑問になんでも答えよう、というセミナーを開催します。知りたいことは様々でしょうから初級編と実践編に分けました。P9に内容などを掲載しておりますのでご覧いただき、奮ってご参加ください。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2021年7月末現在)

## 基準価額

30,112 円

## 純資産総額

96 億 07 百万円

## 期間別騰落率(%)

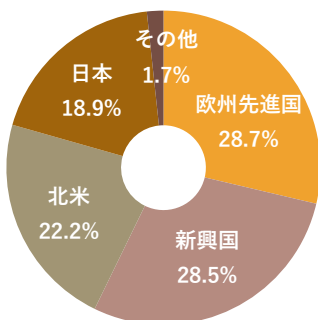
1 ヶ月	-2.34%
1 年	25.35%
3 年	20.74%
5 年	51.37%
10 年	130.20%
設定来	201.12%

## 複利年率(%)

9.00%

\*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

## 地域別構成比

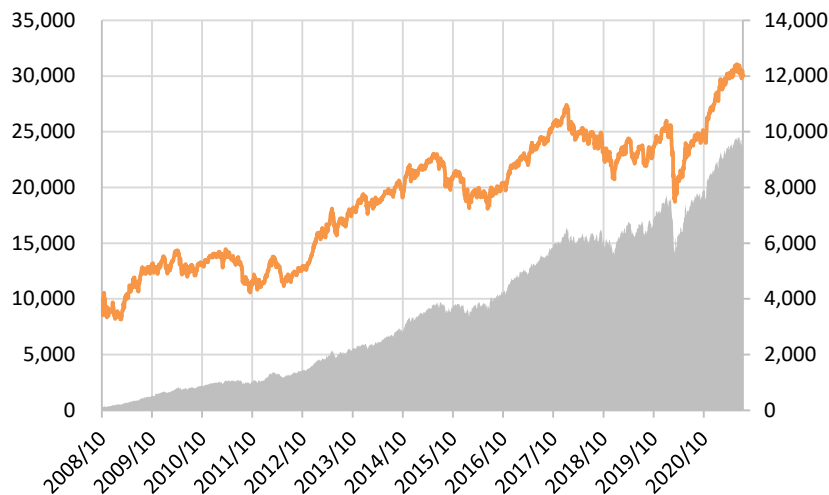


投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2021年6月末現在)

## 基準価額と純資産総額の推移

基準価額 (円)

純資産総額 (百万円)



## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.3%	-1.6%
スパークス F	日本	11.5%	2.8%
キャピタル F	欧米	17.5%	-0.4%
ハリス F	欧米	19.2%	-1.2%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	10.9%	2.7%
コムジェスト・エマージング F	新興国	22.2%	-10.1%
現金等	-	13.4%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2021年7月の市場動向と運用状況

## 投資環境

7月の世界の株式市場は、欧米が堅調だったものの、日本株は小幅安となり、新興国株は大きく下落しました。為替市場では円が総じて強く、円換算した世界の株価は前月比ほぼ横ばいでした。

米国の金融政策については、インフレ率の上昇や景気の拡大予想から、政策の柱の一つである量的緩和策が終了に向かっています。ただ、インフレは一過性との見方が強まったことから長期金利は反落し、政策金利であるフェデラルファンド（FF）金利の先物からは、利上げが前倒しされることへの警戒感がかなり後退したことが窺えます。金融緩和の継続期待は、企業業績の拡大予想とともに特に米国株を押し上げる要因となりました。

一方、新型コロナウイルスのデルタ株が世界的に急激な広がりを見せており、ワクチン接種が進んだ欧米でも多くの国で感染者数が再び増加トレンドに入ってきました。年初からの感染拡大が一旦ピークアウトし、外出規制などの行動制限が解除・緩和されて景気回復期待が盛り上がった国が多かったのですが、感染再燃を受けて慎重な見方が強まり、株価が反落する場面がありました。また、下旬には、P1で触れたとおり中国の政策への警戒感が高まり、中国と香港では株価が一時急落しました。

## 運用の状況

ユニオンファンドは若干値下がりしました。組入比率が最大のコムジェストEMFが10%の値下がりとなったほか、主として欧米株式に投資しているハリスF、キャピタルFが市場の動きを下回ったことによります。コムジェストEU FとスパークスFは市場を上回る値上がりとなりましたが、他のファンドの値下がりカバーしきれませんでした。

売買は見送りました。月末時点の組入比率は、組入ファンドの値下がりなどにより前月末から低下し86.6%でした。

## 今後の見通し

P1で触れた二つの動きには引き続き注視が必要と考えています。中国は今や世界第2位の経済大国であり、投資家にとって無視できる存在ではありませんし、中国政府もまた、全ての民間企業の息の根を完全に止めるつもりではないでしょうから、意外に早く混乱が収まる可能性もあると見ています。とはいえ、投資家の疑心暗鬼がくすぶり続ける可能性も否定できません。

コロナに関しては、マスク着用義務など規制が一部で再発動されており、欧米で一時見られたコロナ明けのお祭りムードに水が差されたのは確かです。ただ、簡単に勝てる相手ではないとの認識は、適切な行動をとる動機にもなりえます。また、昨年春は世界中が一斉に経済活動を止めるほどの危機的状況でしたが、現在はそれなりに対応策もあり、経済が再度劇的に悪化することはないと予想しています。

コロナの影響が想定以上に長引くことがあったとしても、経済の完全再開に向けた歩みは今後も続くでしょうから、基本的に先行きには楽観的ですが、いましばらくは慎重さが必要と見ており、引き続き余裕金を若干多めに持って投資機会を探っていく方針です。

運用責任者 久保田徹郎

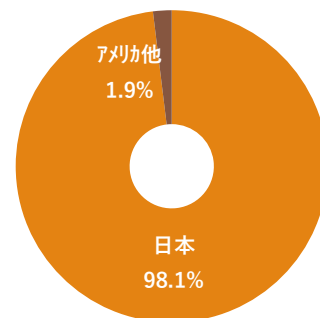
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



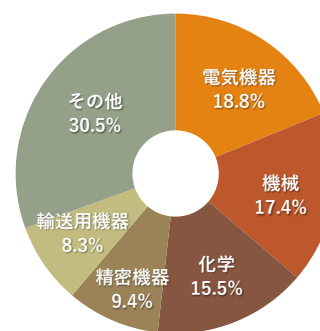
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	6.3%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 ダイキン工業	5.0%	日本	機械	エアコン世界首位
3 信越化学工業	4.1%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
4 プリチストン	4.0%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
5 浜松ホトニクス	3.9%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
6 テルモ	3.6%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
7 トヨタ自動車	3.1%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
8 TOTO	3.1%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
9 花王	2.8%	日本	化学	トイレット首位
10 デンソー	2.5%	日本	輸送用機器	世界的自動車部品メーカー
上位10銘柄	38.4%		現金等	6.6%

業種別構成比



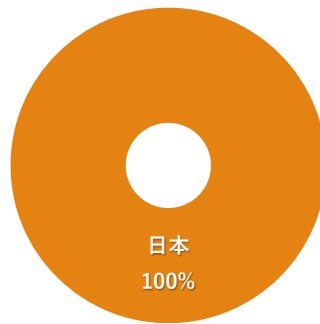
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2021年7月末現在 >

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



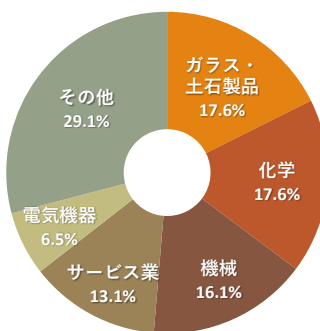
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケア		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
竹内製作所		日本	機械	小型建設機械
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スケーラー
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
バイカレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
現金等				6.4%

業種別構成比(マザーファンド)

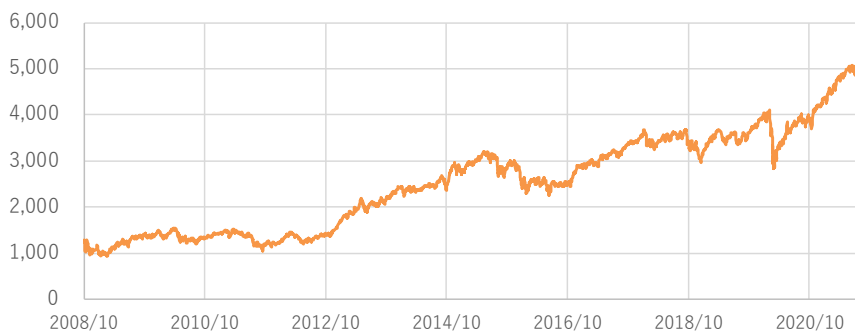


※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2021年6月末現在 >

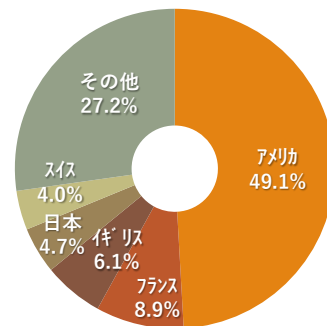
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



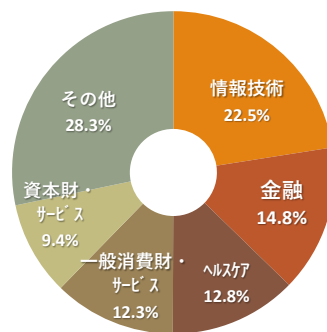
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC	2.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 ASML	2.2%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 Broadcom	1.8%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
4 Microsoft	1.8%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
5 AIA	1.7%	香港	金融	生保・金融サービス
6 Visa	1.6%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
7 AstraZeneca	1.5%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
8 Apple	1.5%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
9 Safran	1.4%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
10 UnitedHealth	1.4%	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ヘルスケアサービス
上位10銘柄	17.1%	現金等	4.5%	

業種別構成比



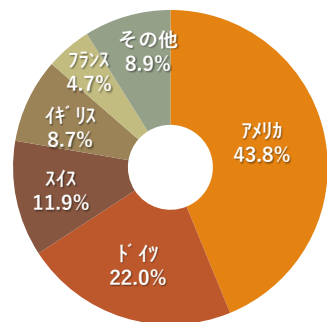
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年6月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリューストックファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



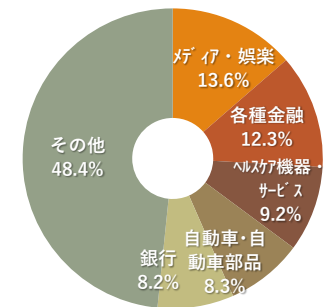
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	5.8%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 DAIMLER	4.2%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
3 BAYER	4.1%	ドイツ	医薬品・バイオ	大手化学医薬品メーカー
4 BNP PARIBAS	4.0%	フランス	銀行	フランス大手銀行
5 ALLIANZ	4.0%	ドイツ	保険	総合保険大手
6 CREDIT SUISSE	3.9%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
7 BERKSHIRE HATHAWAY	3.7%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
8 GLENCORE	3.5%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
9 CNH INDUSTRIAL	3.2%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
10 KEURIG DR PEPPER	3.1%	アメリカ	食品・飲料・タバコ	清涼飲料メーカー
上位10銘柄	39.4%	現金等	3.5%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年6月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

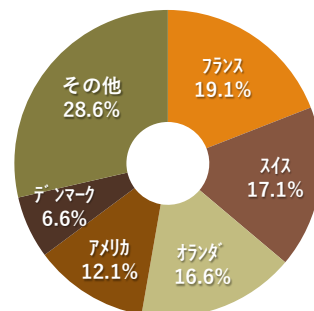


# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



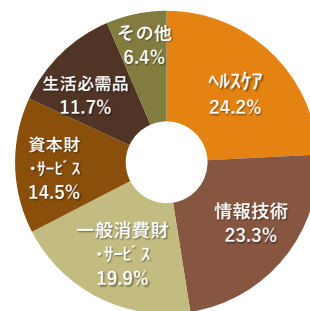
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	7.7%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 LINDE	4.2%	アメリカ	素材	産業ガス世界大手
3 NOVO NORDISK	4.2%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
4 ROCHE	4.1%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
5 ICON	3.7%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品開発受託
6 EXPERIAN	3.5%	イギリス	資本財・サービス	データ・分析ツールの提供
7 ACCENTURE	3.5%	アメリカ	情報技術	総合コンサルティング会社
8 LVMH	3.4%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
9 ESSILORLUXOTTICA	3.1%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
10 TELEPERFORMANCE	3.0%	フランス	資本財・サービス	コールセンター業務受託世界大手
<b>上位10銘柄</b>	<b>40.6%</b>		<b>現金等</b>	<b>5.0%</b>

業種別構成比(マザーファンド)



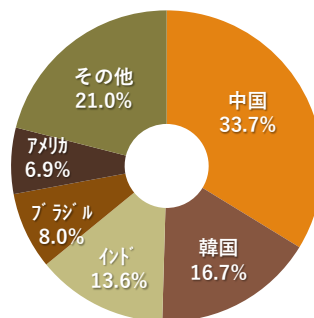
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年7月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



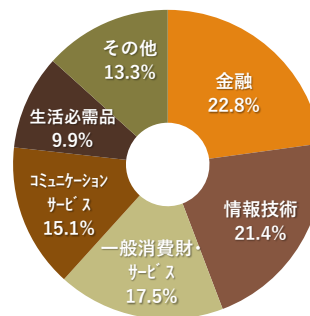
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 SAMSUNG ELECTRONICS	6.9%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
2 ALIBABA	6.2%	中国	一般消費財・サービス	電子商取引サイト
3 HOUSING DEVELOP. FINANCE	5.1%	インド	金融	最大手の住宅開発金融会社
4 TENCENT	5.1%	中国	コミュニケーションサービス	ソーシャルネットワーキング等
5 TSMC ADR	5.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
6 NC SOFT	4.1%	韓国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
7 FOMENTO ECONOMICO	3.8%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
8 PING AN INSURANCE	3.8%	中国	金融	保険大手
9 SANLAM	3.5%	南アフリカ	金融	アフリカの保険大手
10 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.4%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
<b>上位10銘柄</b>	<b>47.1%</b>		<b>現金等</b>	<b>0.5%</b>

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年7月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

### 個人番号（マイナンバー）を弊社へご提供いただいていないお客様へ

2016年より開始されております「マイナンバー制度」に伴い、同年より前に口座開設されたお客様へ、法令に基づき「個人番号（マイナンバー）ご提供のお願い」により、マイナンバーをご提供いただいております。本年（2021年）末でご提供の猶予期間が終了いたします\*ので、該当されるお客様で、まだ弊社までご提供いただけていない方、ご提供の際の書類漏れなどで受付できずに返却させていただきました方におかれましては、7月中旬より順次「個人番号（マイナンバー）ご提供のお願い」を郵送させていただいておりますので、お手元に届きましたらご提供のほど、何卒よろしくご願いたします。

\*猶予期間終了後は、法令に基づく告知がなされていないこととなり、2022年1月1日以後最初にご解約される時または分配金再投資があるときまでに、マイナンバーをご提供いただく必要がございます。

### < 「個人番号届出書」と「個人番号確認書類」のご提出をお願いいたします。 >

- ・「個人番号届出書」とは、弊社での登録内容（お客様コード・お名前・ご住所等）が印字された書面です。
- ・「個人番号確認書類」とは、マイナンバーの「通知カード」のコピーまたは「個人番号カード」の両面コピー、「住民票の写し（個人番号付き）」です。詳しくはお送りいたしましたご案内をご確認ください。
- ・ご登録住所・お名前に変更がある場合は、別途お手続きが必要となります。大変お手数をおかけいたしますが、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお電話いただくか、弊社ホームページの「登録情報変更用紙請求」より変更用紙をご請求ください。

### 月次レポート受取方法について

#### 【受取方法：「E-mail」または「不要（弊社HPで直接閲覧）」のご選択にご協力ください。】

現在月次レポートを「郵送」でお受取りのお客様で、インターネット・E-mailをご利用いただける環境をお持ちの方がおられましたら、“受取方法の「E-mail」への変更”に是非ご協力ください。

- ・月次レポートは、弊社ホームページ（HP）に掲載しております。
- ・レポート受取方法で「E-mail」をご選択の場合、弊社HPに掲載の都度、メールにてご案内いたします。「不要」をご選択の場合でも、弊社HPにアクセスいただければ、いつでもご覧いただけます。
- ・弊社HPでのレポートは、「カラー」のため、グラフ等を鮮明にご覧いただけます。

ご変更は、弊社業務管理部へのご連絡（TEL:0263-38-0725）、または弊社HPの「メールアドレス・月次レポート受取方法変更」にてお手続きください。

### エコの観点からも印刷紙の削減を目指しております。ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくご願いたします。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

### 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

### 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。  
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。  
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。  
[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]  
\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。  
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。



## NOTICE



## リモートセミナー

## 『皆さんの疑問・質問にお答えします』開催のお知らせ

## ～リモートで何でも聞いちゃえ、学んじゃえ！～

投資を始めようかと思ってみたものの、よく分からないことがある。また、投資を始めたけど「こういう時はどうすればいいの？」などの疑問を抱えている。そんなあらゆる疑問、質問にお答えします！

「初級編」と「実践編」に分けて丁寧に答えしますので、安心してご参加ください。また、色んな質疑を聞いてみたいという方のご参加も OK です！

日 時	① 【初級編】2021年9月9日(木) 19:00～20:30 ② 【実践編】2021年9月16日(木) 19:00～20:30
会 場	Zoomによるオンライン形式(無料)
定 員	各30名(お申込み順)
講 師	ユニオン投信 運用責任者 久保田 徹郎、 赤津 正
内 容	参加申し込み時に、聞きたい疑問・質問をお寄せください。頂いたご質問を当日どんどんお答えします。 ※時間の都合上、頂いたすべてのご質問にお答えできない場合がございます。 参加対象は、凡そ以下のようなイメージでご判断ください。 【初級編】投資をやってみようと思っている方、投資を始めて間もない方 【実践編】既に何年も投資を行っている方、複数の投資商品を活用している方
申込方法	以下のリンクまたはQRコードよりお申し込みください。 ① <a href="#">【初級編】</a> (申込締切:9月3日)      ② <a href="#">【実践編】</a> (申込締切:9月10日)   1. 必要事項およびご質問がある方は「質問とコメント」にご入力ください。 2. ご登録いただいたメールアドレスに、当日の参加 URL が自動送信されます。 ※メールが届かない場合は、登録アドレスの誤入力や迷惑メール設定(@zoom.usから送信)の可能性がります。設定等をご確認の上、再度上記アドレスからご登録ください。
参加方法	当日は、上記メールに記載された参加 URL からログインしてください。 Zoomの使い方はこちらをご参照ください。 <a href="https://support.zoom.us/hc/ja/categories/200101697">https://support.zoom.us/hc/ja/categories/200101697</a>

- ・このセミナーは、投資信託その他金融商品についての具体的な説明を行い、その取引を誘引することがあります。
- ・金融商品等への投資は、その価格の変動等により損失を生じることがあります。
- ・金融商品等ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書等をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

**個人情報の利用目的** お申込みにあたり入力された個人情報につきましては、お申込みのセミナーに関するご案内およびお問い合わせへの対応ならびにこれらの管理のために利用します。また、弊社が提供する商品・サービスおよびセミナーに関する情報をお客様にご案内させていただくことがございますので、あらかじめご了承ください。

**個人情報の取扱い** お客様の個人情報につきましては、漏えい等を防止するため、必要かつ適切な安全管理措置を実施いたします。その他、弊社における個人情報の取扱いに関しましては、弊社ホームページに記載の「プライバシーポリシー」および「個人情報の利用目的」をご確認ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。